

なぜ人は帰省するのでしょうか？

小正月も終わろうとしているが、あるメル友からの年賀メールに、次のような記述（抜粋）があった。

【 なぜ人は帰省するのでしょうか？？

子どもたちへ自分の思っている事を話しました。

「将来、何所で暮らしても良いし、お盆や正月を無理に帰ってこなくていいよ。

ただ、辛い事があつたらいつでも戻っておいで。ゆっくり休んで、また、出直せばいいし、おかあさんね、家に戻ってくるのは何時でも良いと思っているんだよね。

遠くにいても子どもが幸せに暮らしている、それだけで親は幸せになれるって事かな。」と。】

いつものように厚かましく、次のように返信した。

【 どうしてでしょうね。

昔と違い、この交通の便がよくなった時代、いつでも帰省できますよね。

でも、ふと考えると、お正月、お盆に帰省すると、竹馬の友に会える確率が高いですよ。

昔の友や近所の方には、昔の自分で会えますし、会話できますよね。

会社等での肩書き、身分等の袴を外して、生身の自分で過ごせるから、やはり気分は解放されるし、自分の居場所の出発点を感じることが出来る事が一番の憩いであり、元気をもらえるのかもね。

私のように遠く故郷を離れている身は、どこか根無し草の感があり。

たまに帰省して竹馬の友に会うと、故郷の大地にしっかり根を張って生きてるように感じます。この感覚は、やはり重いものがあります。

ですから、根無し草は、たまに我が根を見つたく、帰省したくなるのでないでしょうか。

（でも、親が元気な頃は帰省しますが、居なくなると帰省が遠のくはどうしてでしょうね。）

また、1月は和称で「睦月」。

これは、お正月に家族、親戚が集まり、睦ましくなるからとか。

お盆とて、ご先祖様を迎えるために離れていた家族等が集まる機会と思うと、昔からの日本人の編み出した知恵の行事かもね。

あれこれ想像すると、お正月、お盆の帰省は、日本ではすたれることのない行事かもね。

お子さんたちも、大きくなって家を離れても、きっとあなたの胸の中に帰省してくると思いますよ(^o^)]

さて、みなさんは、お正月やお盆に、「なぜ人は帰省するのでしょうか？？」と尋ねられたら、どうお答えしますか？お聞かせください。